

【法学部 アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

持続可能な社会の実現に向けて、現実社会で生起する諸課題に対して柔軟かつ適切な判断を行うため、法学および政治学を学ぶことを通して、以下の能力の発展・向上を目指します。

1. それぞれの法分野について基礎的な知識と理論を修得し、論理的かつ合理的に課題を解決できる法的思考能力(リーガル・マインド)
2. 政治や社会について多角的な視点から理解し、現代社会に生起する諸課題を自ら発見し解決しようとする意欲と能力
3. 国際社会に関する理解をもち、グローバル化・情報化する社会で活躍できるコミュニケーション能力と情報活用能力

求める人材

高校までの学習を通じて形成された学力を重視しつつ、以下のような資質をもった学生を求めます。

1. 社会に対する広範な関心を持ち、幅広い視点から柔軟にものごとを考えようとする人
2. 自ら課題を発見し、ねばり強く考え、自ら判断していこうとする人
3. 持続可能な社会の実現といった世界の動きに関心があり、グローバルな視点をもって活躍したいという意欲のある人

また、将来の職業との関係では、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職や公務員、民間企業などで活躍することを志望する学生を歓迎します。

入学後の学修のため、国語・外国語の2教科を中心に読解力、思考力、表現力を養い、まんべんなく基礎学力を積み上げ、着実に学習する態度を身につけていることが望まれます。

入学者選抜の基本方針

法学部での学習にあたっては、世界への関心を持つと同時に、自分の考え方とは異なる考え方を含めて様々な考え方について、思いつきや感覚的な判断に終始するのではなく、理論的に検討しつつ再構成してゆく作業を着実に進めることが求められます。こうした資質があるかどうかは、高校までの学習を着実に積み上げてきた結果としての学力を基本にして判断されます。

【法学部法学科(昼間コース) アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

持続可能な社会の実現に向けて、現実社会で生起する諸課題に対して柔軟かつ適切な判断を行うため、法学および政治学を学ぶことを通して、以下の能力の発展・向上を目指します。

1. それぞれの法分野について基礎的な知識と理論を修得し、論理的かつ合理的に課題を解決できる法的思考能力(リーガル・マインド)
2. 政治や社会について多角的な視点から理解し、現代社会に生起する諸課題を自ら発見し解決しようとする意欲と能力
3. 国際社会に関する理解をもち、グローバル化・情報化する社会で活躍できるコミュニケーション能力と情報活用能力

求める人材

高校までの学習を通じて形成された学力を重視しつつ、以下のような資質をもった学生を求めます。

1. 社会に対する広範な関心を持ち、幅広い視点から柔軟にものごとを考えようとする人
2. 自ら課題を発見し、ねばり強く考え、自ら判断していこうとする人
3. 持続可能な社会の実現といった世界の動きに関心があり、グローバルな視点をもって活躍したいという意欲のある人

また、将来の職業との関係では、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職や公務員、民間企業などで活躍することを志望する学生を歓迎します。

入学後の学修のため、国語・外国語の2教科を中心に読解力、思考力、表現力を養い、まんべんなく基礎学力を積み上げ、着実に学習する態度を身につけていることが望まれます。

入学者選抜の基本方針

・一般選抜(前期日程)

5～6教科の大学入学共通テストを課し、大学入学後の学修に必要な基礎学力を評価します。2教科の個別学力検査では、国語・外国語を課し、法学・政治学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用能力を評価します。

・総合型選抜

国語・外国語の2教科の大学入学共通テストを課し、大学入学後の学修に必要な基礎学力を評価します。書類審査では、調査書、自己推薦書を通して、自己表現力や学習意欲を総合的に評価します。また、ペーパーインタビューにより、社会への関心や思考力、判断力、行動力、自己表現力など法学・政治学を学ぶ上での適性を総合的に評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力および基礎学力を評価します。小論文では、法学・政治学を学ぶ上で特に重要な、読解能力、論理的思考力、表現能力を評価します。また面接により、大学で学ぶ専門領域についての関心と自己表現力や意欲など法学・政治学を学ぶ上での適性を総合的に評価します。

・国際バカロレア選抜

書類審査により、成績評価証明書、自己推薦書、評価書を通して、基礎学力、自己表現力、意欲を評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜(前期日程)	◎	大学入学共通テスト	○	個別学力検査(国語, 外国語)	☆	調査書
総合型選抜	○	大学入学共通テスト	◎	ペーパーインタビュー, 調査書, 自己推薦書	○	ペーパーインタビュー, 調査書, 自己推薦書

(注) ◎は特に重視する要素, ○は重視する要素, ☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。

【法学部法学科(夜間主コース) アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

持続可能な社会の実現に向けて、現実社会で生起する諸課題に対して柔軟かつ適切な判断を行うため、法学および政治学を学ぶことを通して、以下の能力の発展・向上を目指します。

1. それぞれの法分野について基礎的な知識と理論を修得し、論理的かつ合理的に課題を解決できる法的思考能力(リーガル・マインド)
2. 政治や社会について多角的な視点から理解し、現代社会に生起する諸課題を自ら発見し解決しようとする意欲と能力
3. 国際社会に関する理解をもち、グローバル化・情報化する社会で活躍できるコミュニケーション能力と情報活用能力

求める人材

高校までの学習を通じて形成された学力を重視しつつ、以下のような資質をもった学生を求めます。

1. 社会に対する広範な関心を持ち、幅広い視点から柔軟にものごとを考えようとする人
2. 自ら課題を発見し、ねばり強く考え、自ら判断していこうとする人
3. 持続可能な社会の実現といった世界の動きに関心があり、グローバルな視点をもって活躍したいという意欲のある人

また、将来の職業との関係では、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職や公務員、民間企業などで活躍することを志望する学生を歓迎します。

入学後の学修のため、国語・外国語の2教科を中心に読解力、思考力、表現力を養い、まんべんなく基礎学力を積み上げ、着実に学習する態度を身につけていることが望まれます。

入学者選抜の基本方針

・一般選抜(前期日程)

3～4教科の大学入学共通テストを課し、大学入学後の学修に必要な基礎学力を評価します。2教科の個別学力検査では、国語・外国語を課し、法学・政治学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用能力を評価します。

・総合型選抜

国語・外国語の2教科の大学入学共通テストを課し、大学入学後の学修に必要な基礎学力を評価します。書類審査では、調査書、自己推薦書を通して、自己表現力や学習意欲を総合的に評価します。また、ペーパーインタビューにより、社会への関心や思考力、判断力、行動力、自己表現力など法学・政治学を学ぶ上での適性を総合的に評価します。

・社会人選抜

書類審査・小論文・面接を課します。書類審査では、大学で学ぶ専門領域についての関心、学習意欲を評価します。小論文では、法学・政治学を学ぶ上で特に重要な、読解能力、論理的思考力、表現能力を評価します。また面接により、大学で学ぶ専門領域についての関心と自己表現力や意欲など法学・政治学を学ぶ上での適性を総合的に評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
	◎	○	◎	○	☆	○
一般選抜(前期日程)	◎	大学入学共通テスト	○	個別学力検査(国語, 外国語)	☆	調査書
総合型選抜	○	大学入学共通テスト	◎	ペーパーインタビュー, 調査書, 自己推薦書	○	ペーパーインタビュー, 調査書, 自己推薦書

(注) ◎は特に重視する要素, ○は重視する要素, ☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。